

2025年度 10月期 入学試験問題

発達心理学専攻

発達心理学コース

[博士課程（前期）]

専門科目

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 試験開始の合図があったら、解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入してから問題にとりかかること。
3. 問題1問ごとに、1枚の解答用紙を使用すること。1枚で書ききれない場合は申し出ること。
4. 問題【1】から【4】までの4問題に解答すること。
5. 解答の際には、最初に問題の番号を明記すること。
6. 試験時間は、11時から13時までである。
7. 試験終了後、答案を回収する。問題冊子は持ち帰ること。

【1】 下の表は、幼稚園・保育園児を持つ父親・母親が園に対して期待することが子どもの学年によってどのように変化するかを調べた縦断研究の結果の一部です。

分析対象は、年中時と年長時の2時点とも回答の得られた父親280名、母親321名でした。分析変数の「期待」とは、子どもが通う園で子どもに対して次のようなことをどのくらいしてほしいと思うかに5段階で評定を求め、合計点を算出した変数です。

・学習への期待

「ひらがなの読み書きができるようにしてほしいと思う」など3項目の合計

・基本的生活習慣への期待

「身のまわりのことを自分でできるよう促してほしいと思う」など4項目の合計

表は期待を従属変数とし、親（父・母）×子どもの学年（年中・年長）の2要因2水準の分散分析の結果です。この表からわかることを述べなさい。



【2】幼少期の被虐待体験の生涯発達に及ぼす影響性について論じなさい。

【3】英知(wisdom)とはどのような概念かを説明し、人は歳をとるほど英知を獲得するという考えについて、具体例をあげながら論じなさい。

【4】以下の A 群で示した語句から研究テーマを 1 つ選び、B 群の方法論を用いた研究計画を記述しなさい。作成の際には、(1) 目的、(2) 仮説 (ある場合) (3) 対象者、(4) 手続き、(5) 独立変数・従属変数 (質問紙や実験の場合)、(6) 面接内容・観察内容 (面接や観察の場合)、(7) 分析方法を含むようにすること。

A 群：児童虐待の予防、親子関係、学習意欲の向上、高齢者の well-being

B 群：質問紙調査、面接、観察、実験